



前橋バラ組合  
大澤 昭彦さん・38歳  
富田町

## 情熱が生み出す日本一のバラ

日本ばら切花品評会で、最高賞となる農林水産大臣賞に輝いた。

「愛情を込めて育てたかどうかが、品質の違いを生み出す。特別な栽培方法や最新鋭の設備を導入することだけでは駄目なんです」

いつも丁寧な仕事を心掛けている。病気や害虫などの異変にいち早く気付くことが、バラ栽培にかける情熱の表れだ。バラ栽培は17年前に始め、4年前に父から経営を引き継いだ。



農林水産大臣賞  
を受賞したバラ  
(品種：アマダ)

「最近になって、当たり前のことを当たり前に行っていた父の偉大さを痛感するようになりました」

大澤さんが所属する前橋バラ組合では、現在10人の若い農家が切磋琢磨しながら栽培に取り組んでいる。

「組合のメンバーはライブルでもあり仲間でもあります。情報交換したり励まし合ったりすることで、全体の品質向上を図っています」

「大きさだけでなく、色や形のバランスなどがトータルで美しい花を消費者へ届けた」と語る。愛情を込めて育てられた前橋バラ組合のバラは、大切な人を笑顔にする贈り物に最適だ。



## ↑ ブラジルへ魂届ける

6月15日、中央イベント広場に大型ビジョンを設置し、サッカーのワールドカップ ブラジル大会のパブリックビューイングが開催されました。日本の初戦に1,000人を超えるサポーターが集結。前橋からブラジルへ熱い声援を送りました。

### □前日には必勝祈願祭も

熊野神社で6月14日、少年サッカーチームの選手たちが日本代表の必勝祈願を行いました。



## ↑ 地域スポーツの発展を目指し

6月13日・14日に、ぐんまアリーナで関東スポーツ推進委員研究大会が開催されました。関東各都県から地域のスポーツ振興の担い手約2,000人が集結。ことしのテーマであるウォーキングについて、熱心に意見交換を行いました。



## ↑ 細貝選手が来期の思い語る

6月9日、本市出身でサッカードイツ1部ヘルタ・ベルリン所属の細貝萌選手が市役所を訪問。「W杯メンバーに選ばれず、応援してくれた人の期待に応えられなかったことは非常に残念です」と話しましたが、来期も全力でプレーし、飛躍することを誓いました。

## 赤城の恵



vol. 12



### 山田高則さんの枝豆

空っ風の吹く赤城山麓の前橋で、生産者が妥協を許さず、手間を惜しまず作った「赤城の恵ブランド」の認証品。今回は山田高則さんの枝豆を紹介します。

#### ■計画的に出荷

平成18年、35歳のときに、地域を盛り上げたいとの思いから建設業を離れ、実家のある泉沢町で就農しました。種をまく時期をずらすことで、約7日に作付けし、8月末まで計画的に出荷しています。

#### ■安全安心への取り組み

安全で安心な枝豆を食べてもら



うため、有機肥料などを使用。農薬などを極力抑えた取り組みを行う事業者として、県からエコファーマーの認定を受けています。

■旨みが口いっぱい広がる  
枝豆は茶豆風味の香りと甘みがあり、滑らかな口どおりが特長。おやつ感覚で食べられる飽きのこない味です。

#### ■JAを通じ県外にも出荷

J A前橋市に全量出荷され、最近県外での流通が増えています。市内の流通先は、市場の状況で変わりますが、店頭で写真のパッケージを見かけたら、手に取ってみてください。

#### ■健康・栄養

豆と野菜の栄養が特徴。アミノ酸の一種メチオニンが肝臓でのアルコール分解を助けます。また、疲労回復効果のあるビタミンB1も含まれます。

#### ■生産者からのメッセージ

茹で上げるほか、蒸しても豆本来の味が楽しめます。塩分が気になる人にもお勧めです。

問い合わせは  
農林課 ☎027-898-5841